

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2022.11.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

21日 月曜

創世記

49:22 ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの、実を結ぶ若枝。その枝は垣を越える。

49:23 弓を射る者は激しく彼を攻め、彼を射て苦しめた。

49:24 しかし、彼の弓はいつも固く張られ、彼の腕はすばやい。ヤコブの力強い方の手から、そこから、イスラエルの岩である牧者が出る。

49:25 おまえを助ける、おまえの父の神によって、おまえを祝福する全能者によって、上よりの天の祝福、下に横たわる大水の祝福、乳房と胎の祝福があるように。

49:26 おまえの父の祝福は、私の親たちの祝福にまさり、永遠の丘の極みにまで及ぶ。これらがヨセフの頭の上に、兄弟たちの中から選り抜かれた者の頭の頂にあるように。

49:27 ベニヤミンは、かみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける。」

49:28 これらはすべてイスラエルの部族で、十二であった。これは、彼らの父が彼らに語ったことである。彼らを祝福したとき、それぞれにふさわしい祝福を与えたのであった。

49:29 また、ヤコブは彼らに命じた。「私は、私の民に加えられようとしている。私をヒッタイト人エフロンの畑地にある洞穴に、先祖たちとともに葬ってくれ。

49:30 その洞穴は、カナン地のマムレに面したマクベラの畑地にあり、アブラハムがヒッタイト人エフロンから、私有の墓地とするために、畑地とともに買い取った洞穴だ。

49:31 そこにはアブラハムと妻サラが葬られ、そこにイサクと妻リベカも葬られ、そこに私



はレアを葬った。

49:32 その畑地とその中にある洞穴は、ヒッタイト人たちから買ったものだ。」

49:33 ヤコブは息子たちに命じ終えると、足を床の中に入れ、息絶えて、自分の民に加えられた。

やはりヤコブのヨセフに対する愛情は特別なようです。死んだと思ったのに再開でき、兄たちを赦すだけでなく、自分たち家族をききんから救ったのですから、それは当然でしょう。主は父ヤコブのそのような思いを用いられて、特別な預言を与えました。すなわちキリストを表す預言です。

ここには激しく攻められるられること、全能者によって助けられること、永遠の祝福に至ることが表されています。まさに十字架の責め、主による復活の勝利、永遠の栄光を思わせるものです。

ユダ族のように、系図という目に見えるものから王がそして救い主が誕生することもすばらしいことです。しかしヨセフのように、苦難を通ってもその信仰によって、救い主を自らが表すようになることはもっとすばらしいことです。

ヤコブは先祖たちをともに葬られることを願いました。かつてはリベカばかりを愛していましたが、今はそれだけでなくレアも含めて先祖とともに葬られたい、すなわち自分が生きた証しとして神に導かれたことを明らかにしたいのです。自分の人生を通して最終的に何を遺したいのか…それを考える必要があります。それが明確であることと現在を意義ある毎日とすることは、一体です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 火曜

創世記

50:1 ヨセフは父の顔の上に崩れ落ちて、父のそばで泣き、父に別れの口づけをした。
50:2 ヨセフは自分のしもべである医者たちに、父をミイラにするように命じたので、医者たちはイスラエルをミイラにした。
50:3 そのため四十日を要した。ミイラにするのには、これだけの日数が必要であった。エジプトは彼のために七十日間、泣き悲しんだ。
50:4 喪の期間が明けたとき、ヨセフはファラオの家の者たちに告げた。「もし私の願いを聞いてもらえるなら、どうかファラオにこう伝えてください。
50:5 父は私に誓わせて、こう申しました。『私は間もなく死ぬ。私がカナンの地に掘った私の墓の中に、そこに、私を葬らなければならない。』どうか今、父を葬りに上って行かせてください。私はまた帰って参ります、と。」
50:6 ファラオは言った。「おまえの父がおまえに誓わせたとおり、上って行って、おまえの父を葬りなさい。」
50:7 それで、ヨセフは父を葬るために上って行った。彼とともに、ファラオのすべての家臣たち、ファラオの家の長老たち、エジプトの国のすべての長老たち、
50:8 ヨセフの家族全員、彼の兄弟たちとその一族が上って行った。ただし、彼らの子どもたちと羊と牛はゴシェンの地に残した。
50:9 また、戦車と騎兵も彼とともに上って行ったので、その一団は非常に大きなものであった。
50:10 彼らは、ヨルダンの川向こう、ゴレ



ン・ハ・アタデに着いて、そこで、たいへん立派で荘厳な哀悼の式を行った。ヨセフは父のため七日間、葬儀を行った。
50:11 その地の住民のカナン人は、ゴレン・ハ・アタデのこの葬儀を見て、「これはエジプトの荘厳な葬儀だ」と言った。それゆえ、その場所の名はアベル・ミツライムと呼ばれた。それはヨルダンの川向こうにある。
50:12 ヤコブの息子たちは、父が命じたとおりに父に行った。
50:13 息子たちは彼をカナンの地に運び、マクベラの畑地の洞穴に葬った。それはマムレに面していて、アブラハムが私有の墓地にしようと、ヒッタイト人エフロンから畑地とともに買ったものである。
50:14 ヨセフは父を葬った後、兄弟たち、および、父を葬るために一緒に上って来たすべての者たちとともに、エジプトに戻った。

ヨセフが父ヤコブをカナンの地に葬ったのは、やがて一族がその地に帰るからです。そこは神様が後に子孫であるイスラエル民族に与えた、約束の地です。ヤコブも、息子ヨセフもこの後に何かあるかは分かりませんが、神様のご命令に従順忠実に従いました。

そこには自分自身の判断の余地はありません。またもしも神様から後の新約の神学的真理を説明されても合点がいかなかったでしょう。私たちは、自分の理解を超える神様の真理の前に、従順に従う必要もあるのです。

エジプトからカナンは遠く離れていて、そのプロジェクトは大変なものでしたが、ヨセフはただただ父の信仰、そこに表された主のみ旨に従いました。私たちも見習いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 水曜

創世記

50:15 ヨセフの兄弟たちは、自分たちの父が死んだのを見たとき、「ヨセフはわれわれを恨んで、われわれが彼に犯したすべての悪に対して、仕返しをするかもしれない」と言った。

50:16 そこで、彼らはヨセフに言い送った。「あなたの父は死ぬ前に命じられました。

50:17 『ヨセフにこう言いなさい。おまえの兄弟たちは、実に、おまえに悪いことをしたが、兄弟たちの背きと罪を赦してやりなさい。』今、どうか、父の神のしもべたちの背きを赦してください。」ヨセフは彼らのこのことを聞いて泣いた。

50:18 彼の兄弟たちも来て、彼の前にひれ伏して言った。「ご覧ください。私たちはあなたの奴隷です。」

50:19 ヨセフは言った。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりになることができるでしょうか。

50:20 あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。

50:21 ですから、もう恐れることはありません。私は、あなたがたも、あなたがたの子どもたちも養いましょう。」このように、ヨセフは彼らを安心させ、優しく語りかけた。

50:22 ヨセフとその一族はエジプトに住み、ヨセフは百十歳まで生きた。

50:23 ヨセフはエフライムの子孫を三代まで見た。マナセの子マキルの子どもたちも生まれて、ヨセフの膝に抱かれた。

50:24 ヨセフは兄弟たちに言った。「私は間



もなく死にます。しかし、神は必ずあなたがたを顧みて、あなたがたをこの地から、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた地へ上らせてくださいます。」

50:25 ヨセフはイスラエルの子らに誓わせて、「神は必ずあなたがたを顧みてくださいます。そのとき、あなたがたは私の遺骸をここから携え上ってください」と言った。

50:26 ヨセフは百十歳で死んだ。彼らはヨセフをエジプトでミイラにし、棺に納めた。

ヨセフの兄たちは、またも自分たちのかつての罪から仕返しを恐れ、画策しました。それは言ってもいない父ヤコブのことは持って、ヨセフに取り入ったことです。「ヨセフは泣いた。」とあります。彼はもう赦すと何度も言っていたはずなのに、自分との信頼関係がないことを嘆き、また兄たちの卑屈さを嘆いたものと思われま

す。ここには赦しと不安の原型ともいうべき姿があります。人間は赦されても、なお自分を守るために不安を抱えて生きるものなのです。それはイエス様の十字架によって赦された私たちも同じかもしれません。

何か問題が生じるたびに、赦されていないかも十字架の愛を疑うようなことのないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 木曜

創世記



<ダビデによる。マスキール。>

- 32:1 幸いなことよその背きを赦され罪をおおわれた人は。
- 32:2 幸いなことよ【主】が咎をお認めにならずその霊に欺きがない人は。
- 32:3 私が黙っていたとき私の骨は疲れきり私は一日中うめきました。
- 32:4 昼も夜も御手が私の上に重くのしかかり骨の髄さえ夏の日照りで乾ききったからです。セラ
- 32:5 私は自分の罪をあなたに知らせ自分の咎を隠しませんでした。私は言いました。「私の背きを【主】に告白しよう」と。するとあなたは私の罪ののがめを赦してくださいました。セラ
- 32:6 それゆえ敬虔な人はみな祈ります。あなたに向かってあなたがおられるうちに。大水は濁流となっても彼のところに届きません。
- 32:7 あなたは私の隠れ場。あなたは苦しみから私を守り救いの歓声で私を囲んでくださいます。セラ
- 32:8 私はあなたが行く道であなたを教えあなたを諭そう。あなたに目を留め助言を与えよう。
- 32:9 あなたがたは分別のない馬やらばのようであってはならない。くつわや手綱そうした馬具で強いるのでなければそれらはあなたの近くには来ない。
- 32:10 悪しき者は心の痛みが多い。しかし【主】に信頼する者は恵みがその人を囲んでいる。
- 32:11 正しい者たち【主】を喜び楽しめ。すべて心の直ぐな人たちよ喜びの声をあげよ。

ダビデは国王であり、すべてが自分の権力で思うままにできた人でした。しかし、主の前には罪は罪としてさばかれなければならないことを知っていたのです。そこに彼の王国の繁栄がありました。支配者が主なる神を畏れていたからです。

そこで彼は告白したのは、罪を犯したのこのない人が幸いであるというのではなく、「罪をおおわれた人」が幸いだということです。人は神の愛を感じる時は、自分は正しいというときではなく、こんな自分を赦してくださいましたという感謝するときです。

しかも私たちを赦してくださいました主は、そのためにあの恐ろしい十字架にまでかかってくださいましたのです。ですから、私たちは自分がどんな状態でも主に依り頼むことができるのです。「主に信頼する者には、恵が、その人を取り囲む。」とある、そのことが実現するのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 25日 金曜

創世記

33:1 正しい者たち【主】を喜び歌え。賛美は直ぐな人たちにふさわしい。
33:2 竖琴に合わせて【主】に感謝せよ。十弦の琴に合わせてほめ歌を歌え。
33:3 新しい歌を主に歌え。喜びの叫びとともに巧みに弦をかき鳴らせ。
33:4 まことに【主】のことばは真っすぐでそのみわざはことごとく真実である。
33:5 主は正義と公正を愛される。【主】の恵みで地は満ちている。
33:6 【主】のことばによって天は造られた。天の万象もすべて御口の息吹によって。
33:7 主は海の水をせき止めて集め湧き出る水を倉に納められる。
33:8 全地よ【主】を恐れよ。すべて世界に住む者よ主の御前におののけ。
33:9 主が仰せられるとそのようになり主が命じられるとそれは立つ。
33:10 【主】は国々のはかりごとを破りもろもろの民の計画をくじかれる。
33:11 【主】のはかれることはとこしえに立ちみこころの計画は代々に続く。
33:12 幸いなことよ【主】を自らの神とする国は。神がご自分のゆずりとして選ばれた民は。
33:13 【主】は天から目を注ぎ人の子らをすべてご覧になる。
33:14 御座が据えられた所から地に住むすべての者に目を留められる。
33:15 主は一人ひとりの心を形造りわざのすべてを読み取る方。
33:16 王は軍勢の大きさでは救われない。勇者は力の大きさでは救い出されない。



33:17 軍馬も勝利の頼みにはならず軍勢の大きさも救いにはならない。
33:18 見よ【主】の目は主を恐れる者に注がれる。主の恵みを待ち望む者に。
33:19 彼らのたましいを死から救い出し飢饉のときにも彼らを生かし続けるために。
33:20 私たちのたましいは【主】を待ち望む。主は私たちの助け私たちの盾。
33:21 まことに私たちの心は主を喜び私たちは聖なる御名に拠り頼む。
33:22 【主】よあなたの恵みが私たちの上にありますように。私たちがあなたを待ち望むときに。

「正しい者」は、主に対して恐怖心をいさぐ必要がありません。「主にあって、喜び歌う」ことができるのです。「天を造られた」偉大なる主の権威によって「正しい者」は守られ「愛される」からです。

ただし、ダビデはこの前の歌で「罪をおおわれた」者の幸いを歌っています。つまり正しい者とは全く罪を犯したことのない天使ではなく、罪を認めて告白し、主に罪を赦された者ということができるといえます。

私たちはここに歌われている、主からの安心をどんなときも持つことができるのですが、それは悔い改める謙遜さを大前提としたものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 土曜

創世記



ダビデによる。ダビデがアビメレクの前で、頭がおかしくなったかのようにふるまい、彼に追われて去ったときに。

- 34:1 私はあらゆるときに【主】をほめたたえる。私の口にはいつも主への賛美がある。
- 34:2 私のたましいは【主】を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。
- 34:3 私とともに【主】をほめよ。一つになって御名をあがめよう。
- 34:4 私が【主】を求めると主は答えずすべての恐怖から私を救い出してくださいました。
- 34:5 主を仰ぎ見ると彼らは輝いた。彼らの顔は辱められることがない。
- 34:6 この苦しむ者が呼ぶと【主】は聞かれすべての苦難から救ってくださいました。
- 34:7 【主】の使いは主を恐れる者の周りに陣を張り彼らを助け出される。
- 34:8 味わい見つめよ。【主】がいつくしみ深い方であることを。幸いなことよ主に身を避ける人は。
- 34:9 【主】を恐れよ。主の聖徒たちよ。主を恐れる者には乏しいことがないからだ。
- 34:10 若い獅子も乏しくなり飢える。しかし【主】を求める者は良いものに何一つ欠けることがない。

ダビデは自分を守るために、気が違ったかのようにふるまわなければなりません。不安と恐怖、そして屈辱の中にいたのです。それでも彼は「あらゆるときに主をほめたたえる」と、信仰の宣言をしています。

それは彼が今だけの境遇に気持ちが反応して、不平不満を言うのではなく、これまでの主のみわざを

思っているからです。つまり「主のすばらしさを味わい、これを見つめ」ているのです。

私たちは日常生活の中で、主を深く思うときが大切です。時間をかけるのを惜しんで、主との関係も簡単にすませてしまうのが、効率のよい生き方ではありません。時間の有効利用ではありません。むしろ主の素晴らしさを味わうことで、感情や考えの堂々巡りから脱却できるのです。またこの世のアプローチではどんなに時間をかけてもかなわない、主の真理に到達できるのです。何よりも、私たちに本当に必要な、主自身の愛をいただくことができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 27日 日曜

創世記



34:11 来なさい。子たちよ私に聞きなさい。

【主】を恐れることを教えよう。

34:12 いのちを喜びとする人はだれか。幸せを見ようと日数の多いことを愛する人は。

34:13 あなたの舌に悪口を言わせず唇に欺きを語らせるな。

34:14 悪を離れて善を行い平和を求めそれを追い続けよ。

34:15 【主】の目は正しい人たちの上にあり主の耳は彼らの叫びに傾けられる。

34:16 【主】の御顔は悪をなす者どもに敵対し主は彼らの記憶を地から消し去られる。

34:17 苦しむ者が叫ぶと【主】は聞かれそのすべての苦難から救い出してください。

34:18 【主】は心の打ち砕かれた者の近くにおられ霊の砕かれた者を救われる。

34:19 正しい人には苦しみが多い。しかし【主】はそのすべてから救い出してください。

34:20 主は彼の骨をことごとく守りその一つさえ折られることはない。

34:21 悪は悪しき者を殺し正しい人を憎む者は責めを負う。

34:22 【主】はそのしもべのたましいを贖い出される。主に身を避ける人はだれも責めを負わない。

ダビデは神に失望したくなるような出来事が多くありましたが、どこまでも神を信頼し続けました。その結果、王となり、その国は繁栄しました。「子どもたちよ」とありますから、これは彼の本心からの教えであり、ぜひとも知らせておきたいことなのだと思います。それは「主の目は正しい者に向き、その耳は彼らの叫びに傾けられる。」ということです。

これは彼の信仰の経験から来る確証です。彼はちょっと頼って、失望すればやめてしまうというような、いい加減な信仰ではありませんでした。主の前に正しくありたいと思えば、自分の命をねらうサウル王にでさえ忠誠を誓ったのです。

「正しい者の悩みは多い」というのが彼の実感でしょう。それはまた、悩みが多いのは自分の正しさから来ているのだという、自負もあったと思われれます。またそれは喜びでもありました。

主の御心を行う人生は簡単ではありません。しかしそれは勝利への道であり、祝福の条件です。またそれは主を愛する者の喜びでもあります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

